Cisco Secure ACS for Windows における Web インターフェイスの脆弱性

severity

アドバイザリーID : cisco-sa-20020403-acs-win-web

初公開日 : 2002-04-03 16:00

バージョン 1.1 : Final

回避策 : Yes

Cisco バグ ID :

CVE-2002-0160

CVE-2002-0159

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Windows のための Cisco Secure Access Control Server （ ACS ）は 2 脆弱性が含まれています。 1 脆弱性は ACS サーバの任意 の コードの実行の原因となり第 2 は情報の無許可の開示の原因となる場合があります。 パッチは両方の脆弱性に利用できます。

Cisco Secure ACS for UNIX は脆弱ではないです。 その他のCisco製品は脆弱ではないです。

脆弱性のための直接回避策がありませんが、それらを大いに軽減することは可能性のあるです。詳細については回避策 セクションを参照して下さい。

このアドバイザリは http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20020403-acs-win-web で利用できます。

該当製品

修正済みソフトウェア

影響を受けた製品は Cisco Secure Access Control Server for Windows です; 2.6.x および ACS 3.0.1 以前のすべてのリリース (ビルドは 40) 影響を受けています。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

Cisco Secure ACS for UNIX は影響を受けていません。

他のシスコ製品においてこのアドバイザリの影響を受けるものは、現在確認されていません。

改訂履歴

リビジョン 1.1	2002-April-05	該当製品に行われる更新およびソフトウェア バージョン および 修正。
リビジョン 1.0	2002-April-03	初版リリース

利用規約